

## 全国月間火山概況

2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、10月頃から更に活発となり、昭和火口では、噴火の多い状態が続いています。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

福徳岡ノ場では、2月3日に海底噴火が発生しました。噴火警報（周辺海域警戒）が継続しています。

3月9日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 3月9日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島
	レベル2 (火口周辺規制)	浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1(平常)	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ケ岳、岩手山、秋田駒ケ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(新燃岳)、霧島山(御鉢)、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、二セコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開闢岳、口之島、中之島、硫黄島島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、折捉焼山、折捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)



図1 噴火警報発表中の火山

## 【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

### 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

16日に、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が3回発生し、その後火山性地震がやや増加しました。火山性微動の発生は、2009年10月27日以来です。

24日に北海道の協力により実施した上空からの観測では、噴煙の状況や地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

62-2火口の噴煙活動や熱活動は低調に経過していることから、火口周辺に影響する噴火の兆候は認められませんが、GPSによる地殻変動観測では、2006年以降62-2火口浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が認められているので今後の火山活動の推移に注意が必要です。

### 浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙量は4月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上50~200mで推移しました。山頂火口からは火山ガス(二酸化硫黄)の放出が続いています。

火山性地震はやや多い状態が続いています。

山体周辺のGPS連続観測では、昨年7月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、2009年7月頃から鈍化し、現在はほぼ停滞しています。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

### 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は火口縁上100~200mで推移しました。

8日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり600~1,900トン(前回1月29日、1,600~2,000トン)で、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓で時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があるため、山頂火口周辺では引き続き噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

### 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

12日の上空からの観測及び13~14日の現地調査(いずれも海上自衛隊の協力による)では、2009年7月27日の観測と比べ、島内の噴気及び地熱等の状況に大きな変化は認められませんでした。

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。また、国土院の観測によると、2006年8月以降みられている島全体の隆起を示す地殻変動は、現在は停滞しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

### 福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

第三管区海上保安本部によると、2月3日07時45分頃、福徳岡ノ場で爆発音とともに白色の噴煙が上がっているのが確認されました。また、同日10時頃に灰色の噴煙が上がっているのが確認されたほか、14時27分頃に灰色の噴煙が約100m上がっているのが観測されました。噴火地点の周辺海域では変色水と浮遊物が確認されました。海上保安庁による4日の観測では、噴煙は確認されませんが、黄褐色、茶褐色、褐色及び乳白色の変色水が確認されました。また、変色水域では熱水の

上昇がみられ、上昇に伴う軽石も噴出していました。

海上保安庁、第三管区海上保安本部および海上自衛隊によるその後の観測でも、福岡ノ場付近の海域で変色水が確認されています。

福岡ノ場では、これまでも変色水や浮遊物が観測されており、2005年7月2日から3日にかけても海底噴火が発生しています。

福岡ノ場では引き続き海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

### **桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

昭和火口では、噴火回数の多い状態が続いています。2月は噴火が154回発生しました。そのうち爆発的噴火は120回発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大で3合目(昭和火口から1,300~1,800m)まで達しました。13日05時49分の爆発的噴火では、火砕流が火口周辺にとどまる程度(昭和火口の東側500mの範囲)に流下しました。また、同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映が、時々観測されました。

南岳山頂火口では噴火は発生しませんでした。

4日、8日、16日及び19日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,200~1,700トンと増減を繰り返しながら多い状態が続いています。

国土地理院によるGPS連続観測では、<sup>あいら</sup>始良カルデラ深部(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。

2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、2009年10月頃から更に活発となっています。今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられるので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

### **薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

火山性地震はやや多い状態が続いています。

<sup>いあうだけ</sup>硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続き、噴煙の高さは火口縁上概ね100mで推移しました。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

### **口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]**

13日から<sup>しんだけ</sup>新岳火口直下を震源とする火山性地震が一時的にやや増加し、その後は増減を繰り返しています。火山性地震の増加に際し、噴煙等の表面現象やGPSによる地殻変動観測では特段の変化は認められませんでした。

口永良部島では新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられませんが、火口内では引き続き噴煙がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

### **諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

<sup>おたけ</sup>御岳火口では爆発的な噴火を含む噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火が42回発生しました。諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成22年3月9日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。  
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## （2）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山